

2019 年全国家計構造調査

所得に関する結果及び家計資産・負債に関する結果

令和3年6月

宮城県企画部統計課

所得に関する結果

〈所得概況〉

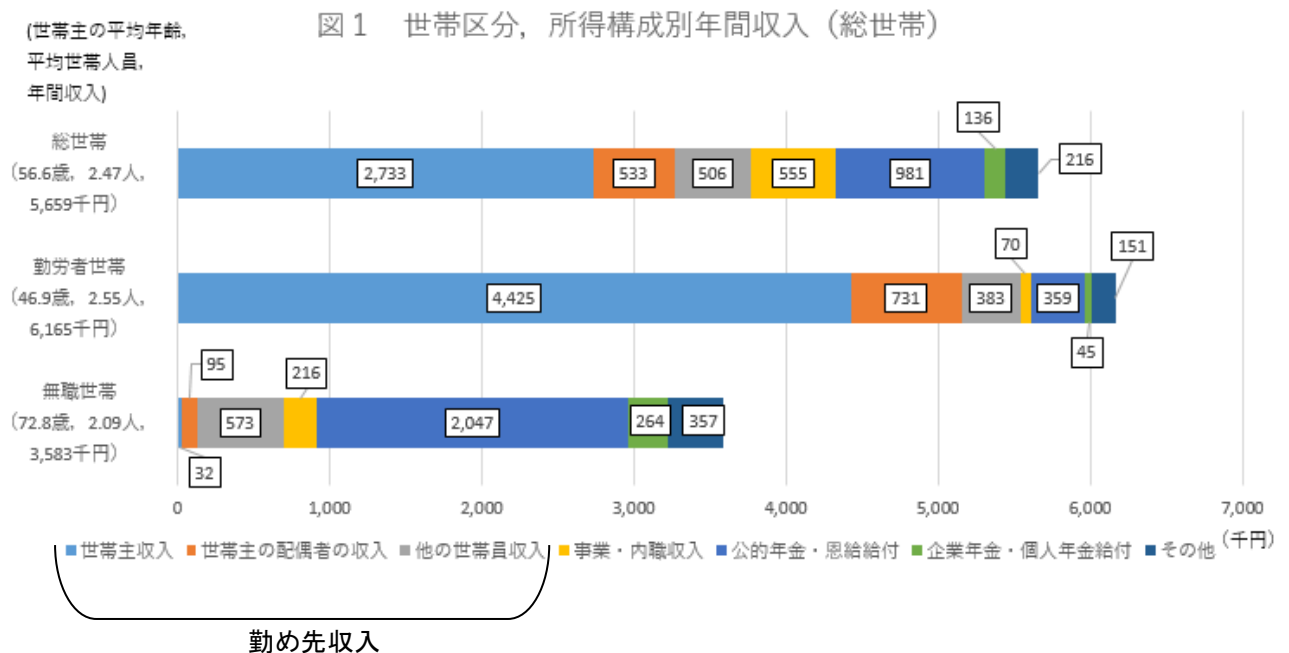
宮城県の1世帯当たりの年間収入は565.9万円で、前回(※)と比べ、9.8%の増加

※前回とは「平成26年(2014年) 全国消費実態調査」を指します(以下同様)。

- ・総世帯の1世帯当たり2019年(※1)の年間収入は565.9万円。2014年(515.6万円)(※2)と比較すると、9.8%の増加。
- ・平均年間収入は全国(558.4万円)を上回っている。
- ・勤労者世帯の年間収入は616.5万円、「勤め先収入」のうち「世帯主収入」が442.5万円、「世帯主の配偶者の収入」が73.1万円など。
- ・無職世帯の年間収入は、358.3万円、うち「公的年金・恩給給付」が204.7万円、「勤め先収入」のうち「他の世帯員収入」が57.3万円など。(図1)

※1 2018年11月から2019年10月までの収入(税込)

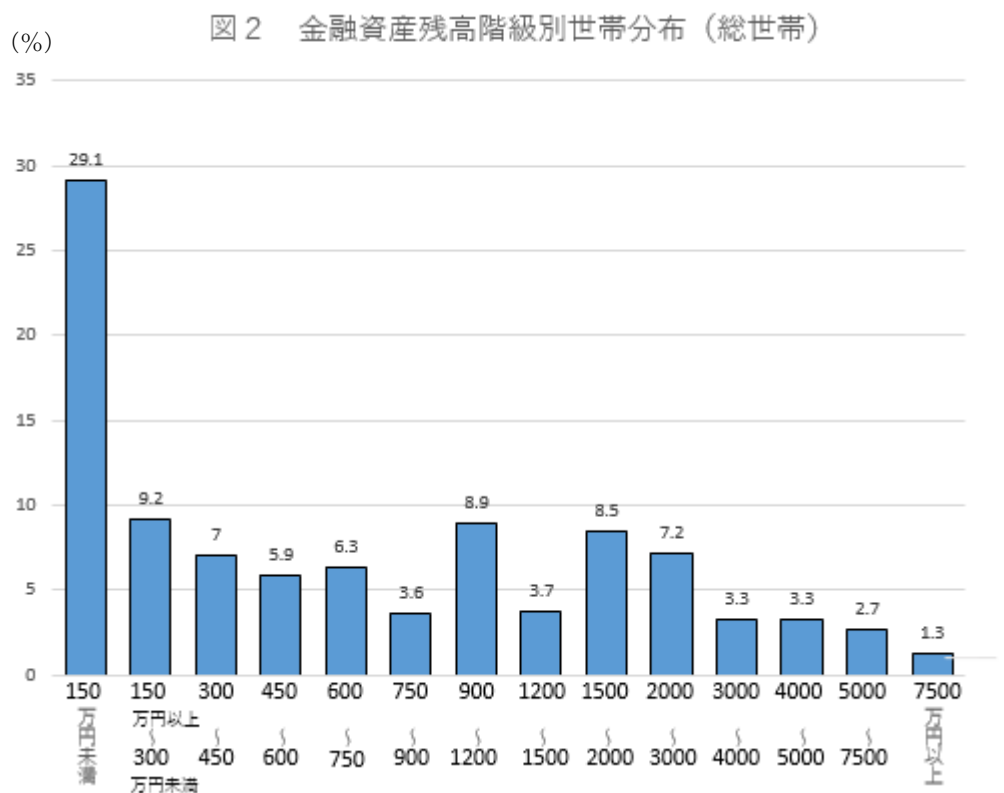
※2 2013年12月から2014年11月までの収入(税込)



〈金融資産概況〉

宮城県の1世帯当たりの金融資産残高は1,182.7万円で、前回と比べ、21.1%の増加

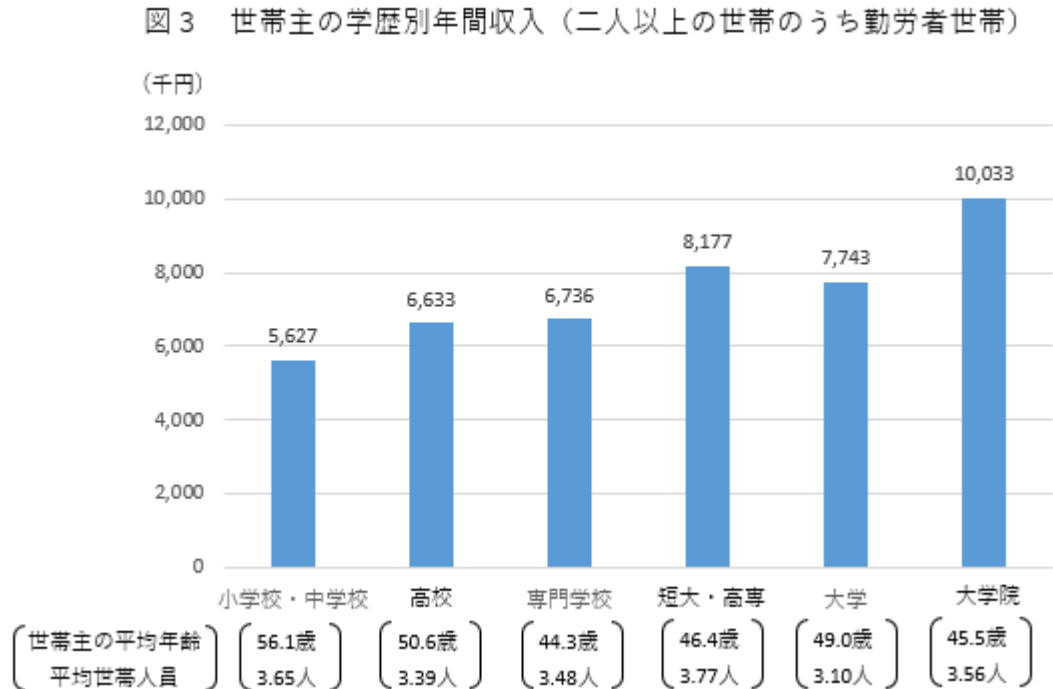
- ・総世帯の1世帯当たり2019年10月末日現在の金融資産残高（貯蓄現在高）は1,182.7万円。2014年11月末日現在（976.8万円）と比較すると、21.1%の増加。
- ・平均金融資産残高は全国（1,279.7万円）を下回っている。
- ・金融資産残高階級別の世帯分布をみると、150万円未満が29.1%と金融資産残高の少ない階級に偏った分布となっている。（図2）



〈世帯主の学歴別にみた年間収入〉

宮城県の世界主が高校卒業の世界では、年間収入が663.3万円、大学卒業の世界では774.3万円

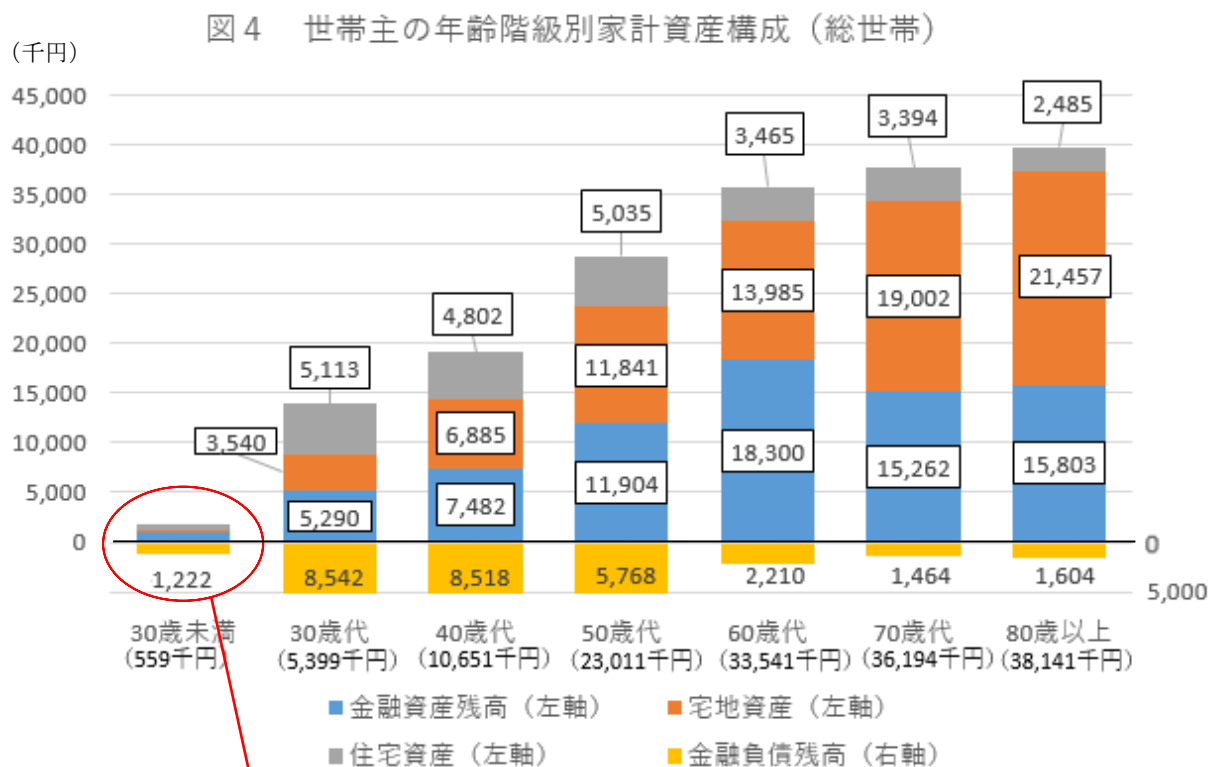
二人以上の世界のうち勤労者世界の年間収入を世帯主の学歴別にみると、高校卒業が663.3万円、大学卒業が774.3万円、大学院修了が1,003.3万円などとなっており、世帯主が大学卒業の世界が高校卒業の世界の約1.2倍（図3）



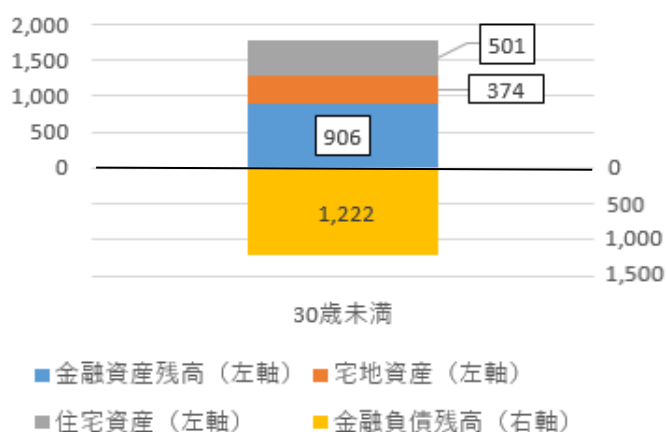
〈世帯主の年齢階級別にみた家計資産〉

宮城県で家計資産総額が最も多いのは、世帯主が80歳以上の世帯

総世帯の家計資産総額（金融資産残高－金融負債残高＋宅地資産＋住宅資産）を世帯主の年齢階級別にみると、年齢階級が高くなるに従って多くなり、80歳以上が38,141千円と最も多くなっている。家計資産のうち、「宅地資産」は年齢階級が高くなるに従って多くなっている（図4）。



※拡大図



注 本資料上の図表について、金額及び構成比は表示単位に四捨五入してあるので、内訳の計は必ずしも合計に一致しない。